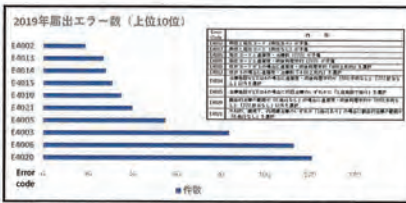







わかりやすい説明を目指した 「長崎県がん登録簡易マニュアル」の作成

篠原裕子、久松美晴、佐々美佐紀、水藤薫、吉田匡良、
野口智佳、永吉明子、田浦風花、長田芳、杉山裕美
放射線影響研究所疫学部（長崎県がん登録）

目的	長崎県では全国がん登録の届出施設に向けて、研修会開催を通して届出要領の周知に取り組んできたが、がん登録室から届出票の項目エラー問合せ時に、研修会での説明だけでは届出担当者の理解が不十分だと思われた。届出項目について理解を促進し、データの品質向上のために、情報提供方法を検討する事とした。
方法	届出票の項目エラー問合せ時に、届出担当者が全国がん登録届出マニュアル（以下、届出マニュアル）を熟読されていない様子が伺えたので、簡略化した手引き（以下、簡易マニュアル）が必要であると考えた。過去の研修会資料、届出マニュアル等を参考にし、2020年はエラーが多かった届出項目の解説に絞り視覚的にわかりやすく表現する事を目指した。2022年は届出マニュアルに沿って、届出施設の特性に応じた説明と届出パターンによる解説を加えて作成し、各届出施設へ郵送配布した。
内容紹介	
 <p style="text-align: center;">2019年届出エラー数（上位10位）</p>	
 <p>【2020年作成簡易マニュアル】</p> <p>2019年度届出でエラーが多かった項目、パターン別の届出票記入例について解説。 主な項目：側性・病理診断・性状進展度・診断施設と診断日・治療施設フローチャート</p> <p>【治療施設フローチャート】</p>  <p>「診断施設と治療施設の考え方がわかりづらい」という医療機関からの声を基に作成した治療施設フローチャート</p> <p>病院の目線にたって届出パターン別にそれぞれの作成方法を確認することができるので、大変わかりやすい。 (H病院担当者様)</p>	 <p>【2022年作成簡易マニュアル】</p> <p>全国がん登録届出マニュアルの届出項目に沿って丁寧に解説 主な項目：届出項目26項目の解説、届出票作成例1~7</p> <p>【診断施設と診断日】</p>  <p>【届出票作成例】</p> 
<p>側性・初回治療と進展度や治療施設の関係するエラーが特に多い。</p> <p>診断施設・治療施設の選択の仕方がよくわかった。 (M医院担当者様)</p> <p>届出票を作成する時いつも手元に置いてみます。 (Y病院担当者様)</p>	
結論	届出施設とのやり取りから、簡易マニュアルについては良い感触が得られた。また、作成過程で登録室職員間の認識共有も改めて図られる機会となり、概ね目標を達成できた。
課題	マニュアル配布前後で数値上は目立ったエラー数減少とはならなかった。エラーコード別の修正方法や、エラーが多かった項目の具体例をあげた解説が不足していたため改善が必要と感じた。今後の課題として、Webからのダウンロード、届出票作成方法の効率化及び省力化、時間的・人的資源の融通等が考えられる。したがって、各都道府県において共通する課題として、標準化された「簡易マニュアル」の必要性を感じた。

日本がん登録協議会 第32回学術集会 COI開示 筆頭演者：篠原 裕子 当演題発表に関し、開示すべきCOIはありません。